

2022年度 事業報告

(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 相談事業

(1) 「なんでもステーション相談室」開室

「なんでもステーション相談室」を開室し、地域の誰もがいつでも気軽に立ち寄れる相談室の運営に努めた。 火曜日～金曜日、土曜日は月2回 10時～16時

① 相談	127人(75人)	* ()は2021年度実績
② 道(店)案内	7人(8人)	
③ 商店街に関すること	182人(89人)	
④ 相談以外の来所者	369人(307人)	
⑤ ①+②+③+④	684人(479人)	
⑥ 開室日	195日(182日)	
⑦ 1日平均	3.5人(2.6人)	

(2) 「地域デビュー相談室」

定年退職前後の人たちが、いつでも気軽に立ち寄れる「地域デビュー相談室」を月2回土曜日10時～16時開室し、2人交代で地域活動紹介及び情報提供を行った。相談件数は、上記「なんでもステーション」に含む

2. 地域交流事業

笑顔で まち歩き

新型コロナウイルス感染影響で中止

3. 情報収集及び提供事業

地域活動に関する情報を収集し、情報を必要としている人へ情報提供を行った。

- ① ホームページ 事業内容やイベント情報を随時更新し、提供した。
アクセス件数10,808件(2023年3月31日現在)
- ② カタログラックを事務所前に設置し、各団体のチラシ配布に協力した。

4. 支援・協力事業

烏山周辺の市民団体、商店街、行政、NPO等の求めに応じ、支援・協力を行った。

- ① 春・秋の交通安全運動は、午前中のみ実施した。(協力者：春・秋とも7名)
- ② 烏山区民センター主催 9月11日(日)11時～13時「おとしよりに学ぶ集い」に協力
カード入れの製作、指トンボ遊び、紙飛行機の製作と遊び(飛ばし)方を行った。
笑顔せたがやより4名協力した。
- ③ カレンダープロジェクト
笑顔せたがやの関係者に呼びかけてカレンダーを集め、2023年1月10日福祉施設(短期宿泊

施設、女子更生施設)にカレンダー450本と手帳20冊を届けた。

カレンダー提供者

北口純、清水由紀子、中園公二、花村勝光、萬匠憲次、萬匠範子、山崎富一、渡辺美代子、
JTB東京中央支店(富田寿)、パブリックリソース財団(渡辺裕) (敬称略)

Ⅱ 組織運営

1. 通常総会及び理事会の開催

(1) 通常総会 正会員数30名(2022年3月31日)

NPO法人笑顔せたがやの最高意思決定機関として、通常総会を2022年5月29日(日)開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染に配慮し、役員出席と会員の書面表決で行った。

(2) 理事会

第1回理事会 2022年5月29日(日)2021年度事業報告及び収支決算報告について審議した。

2. 財源の確保

(1) 会員数22名(2023年3月31日)

(2) 寄付金

天野房子様(100,000円)、スポーツ吹矢様(49,006円)重沢立郎様(2,000円)、
募金箱(3,002円)より寄付があった。

3. 事務局体制

新型コロナウイルス感染に気をつけながら通常業務を行った。

① 開室日 火曜日～金曜日、土曜日は月2回 10時～16時 週6日開室

② スタッフ6体制で円滑な運営に務めた。